

# 「刑務官と死刑」関連作品

## 映画

休暇 2007年 日本

監督…門井肇 原作…吉村昭

一週間の休暇のために死刑執行担当を申し出た刑務官（小林薫）。交流のある死刑囚（西島秀俊）を殺害する苦悩や、現場の重い空気が描かれる。

執行者 2009年 韓国

監督…チェ・ジンホ

死刑囚監房に配属された新人刑務官（ユン・ゲサン）。先輩刑務官（チョ・ジヨヒョン）の指導の下、徐々に環境に慣れて死刑囚と友情も芽生えるが、十二年ぶりに死刑執行が再開されることになる。

悪は存在せず 2020年

ドイツ・チェコ・イラン

監督…モハマッド・ラスロフ

イランでは、二年間の兵役期間中に執行部に配属された兵士も死刑執行を担当する。執行担当となった普通の人々の視点から死刑制度を描いた四つの短編のオムニバス映画。第七十回ベルリン国際映画祭コンペティション部門で最高賞の金熊賞を受賞。

## コミック

モリのアサガオ 2004年～2007年

著者…郷田マモラ

父と同じ職に就いた新人刑務官が死刑囚の実態に触れ、死刑制度の是非について深く悩む物語。死刑に関する様々な問題点を取り上げられている。文化庁メディア芸術祭マンガ部門大賞受賞。

## ドラマ

モリのアサガオ 2010年

原作…郷田マモラ

新人刑務官（伊藤淳史）は、同年代の死刑囚（井浦新）と心を通わせ親友になつていく。死刑囚との交流の中で、死刑という形で罪を償うのが望ましい事なのか、刑務官は苦悩する。

## 小説

夏の流れ 1967年

著者…丸山健二

担当刑務官と死刑囚の死刑執行日までの心の動きを綴った作品。芥川賞受賞。

鉄窓の花びら 死刑囚へのレクイエム

1983年

著者…高橋良雄

東京・大阪拘留所所長として十二人の死刑執行に立ち会った著者が、出会った死刑囚について小説という形で語る。

## ノンフィクション

死刑執行人の苦悩 1988年

著者…大塚公子

死刑執行に立ち会った元刑務官や家族へのインタビューを七編収録。刑務官の苦悩に満ちた想いが語られる。

元刑務官が明かす 死刑のすべて 2006年

著者…坂本敏夫

元刑務官が、拘留所の日常や死刑執行の瞬間など、死刑現場についてリアルに解説。